

■ 趣旨

戦後造成した人工林が本格的な利用期を迎える中、この豊富な森林資源を循環利用し、林業の成長産業化を実現することが課題となっている。木材需要の冷え込み等の影響を克服するとともに、地方創生に寄与し、林業の成長産業化を実現させるため、住宅分野等での地域材利用促進に対する一般消費者等の理解を醸成し、木材の需要拡大に資するものとする。

■ 具体的な取組内容:全国レベルでの木づかい広報の展開

タイトル:「まちと森林をつなぐ木づかい全国キャラバン」

木材利用に関わる、全国の生産者や地方自治体、業界団体や協議会、大学などの研究機関、企業、生活者など国民全体に向けて、「木づかい」の現状とその価値や意義について学んで考えるとともに、あわせて木の魅力と可能性を体験してもらう地域発のイベントを展開。全国8箇所 シンポジウムと体験型イベントをセットにしたリレーキャラバンを行う。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ・北海道 (北海道札幌市) 7月5日予定 | ・近畿 (大阪府大阪市) 7月11日予定 |
| ・東北 (山形県山形市) 8月29日予定 | ・中国 (岡山県岡山市) 6月27日予定 |
| ・関東 (東京都港区) 9月18日予定 | ・四国 (徳島県徳島市) 6月6日予定 |
| ・中部 (岐阜県岐阜市) 8月1日予定 | ・九州 (宮崎県綾町) 7月25日予定 |

「まちと森林をつなぐ木づかい全国キャラバン」

「シンポジウム」

「体験型イベント」

● 基調講演 (各地域の大学等より)

point! 「木材利用の分野を俯瞰して、日本の林業・地域の現状、そして木材の課題と可能性について知る。」

学術的な
総括的視点

● ゲスト特別講演 * 関東のみ

point! 「グローバルかつ日本全体の木材利用の最先端の情報や各界の第一人者からの視点・提言に触れる。」

各界最前線の
視点

● 「木づかい」先進事例発表 (3~4名程度)

point! 「エリア内の各県の工夫や試みなど様々な現地の知恵、情報収集と交流を行う。」

地域ごとの
情報交換

● 特別トークセッション

point! 「木材利用によって広がる暮らしや地域の可能性を各登壇者が語り合い、来場者がこのセッション聴講を通じて価値観や生活を見直すきっかけ作り」

来場者への
提案型メッセージ
発信

● 「木づかい」体験イベント

point! 「おもちゃ美術館」とコラボレーションした「木育キャラバン」各種ワークショップや体験コーナー、企業展示ブース
身体の五感を使って「木の魅力」を体感する。

木づかいの
体感、発見、
感動を与える

〈キャラバンの概要〉

タイトル:

「まちと森林をつなぐ木づかい全国キャラバン」

■ 日程と概要 平成27年6月～9月初旬 全国順次 ※開催日程は現在調整中

① 主催者（林野庁）および地域代表挨拶 15分

- ・「森林、林業、木材利用の現状映像」の上映含む



② 基調講演（各開催地域の大学等より） 30分

- ・テーマ(案)

「開催エリアでの木材利用に関する学術的研究や、環境・建築技術開発、産学官連携の実績などを絡めた提言等」



③ ゲスト特別講演 30分 ＊関東のみ

木材需用の喚起につながり得る分野における第一人者、著名人等を想定

- ・テーマ(案)

「日本のライフスタイルや街づくりを変える、木材利用の未来と今後の可能性」



④ 「木づかい」先進事例発表（3～4名程度）各20分

- ・「開催エリアでの木材利用に関する研究や技術開発及びサービス等の事業活動や取組事例、産学官連携の実績などを絡めた提言等」
- ・下記の多分野の有識者候補より3名程度の事例発表を招聘する。
 - i) 自治体関連 カテゴリ
 - ii) 建築関連 カテゴリ
 - iii) 教育機関・各種団体 カテゴリ
 - iv) 企業・メーカー・職人等 カテゴリ
 - v) その他 カテゴリ ※地域のバランスと各分野のバランスに留意して招聘。



⑤ 特別トークセッション 90分

- ・テーマ(案)

「木の利用で、暮らしが変わる。地域が変わる。
～ 木材利用の価値とこれからの可能性」

- ・出演者

コーディネーター:

地方自治体担当者、又は基調講演者及び有識者

パネリスト: ②～④の登壇者

司会者: 地元のフリーアナウンサー(女性)等を想定

